

跡見学園女子大学 学報



紫祭実行委員会

令和2(2020)年より流行をはじめた新型コロナウイルス感染症の影響により、跡見学園女子大学では分散登校、オンライン授業、キャンパスへの入構制限など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため様々な取り組みを行ってまいりました。

令和4(2022)年度秋学期より、一部の授業を除きほぼ全対面での授業を再開し、ようやくキャンパスにも活気が戻り、大学本来の姿を取り戻しつつあります。

今号では、コロナ禍でありながらも、工夫を凝らしながらゼミや課外活動、学園祭(紫祭)に取り組む学生たちの様子をご紹介します。未だ、新型コロナウイルス感染症は終息の目途が立たない状況が続いています。教職員一同、引き続き感染拡大防止対策を講じながらも、学修機会や生活支援の充実に努めてまいります。皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

記事内容

○ゼミ紹介	2
○第55回紫祭活動報告	3
○学生会情報 ○CLUB NOW	4
○焼きたてパンの販売とキッチンカーの導入について ○河津桜の移植について	5
○地域交流活動の紹介	6~7
○国際交流活動の紹介	7
○令和4年度文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」について	8
○跡見学園後援会大学幹事会開催報告	
○就職課 Information	9
○新座キャンパス AV 機器入替について ○図書館トピックス ○保護者説明会開催報告	10
○2022年度新任教職員	11
○2022年度学内講演会開催報告	12
○2022年度各種研究助成報告 ○東京都連携事業「観光経営人材育成講座」開講報告	13
○跡見さくら咲く募金について ○2023年度オープンキャンパスのご案内	14
○2023年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定	15
○2023年度花躰記念資料館展示スケジュール ○春の行事予定 ○履修申請期間 ○公式SNS紹介	16

ゼミ紹介

松井ゼミ

文学部 人文学科 教授 松井 慎一郎

本ゼミは、日本近現代史すなわち幕末から現代におよぶ歴史を研究対象としています。歴史学の醍醐味は、「温故知新」というように、史料を通じて過去の人物や事象と触れ合い、現在や未来を生きる上での知恵や希望といったものを引き出すことにあると考えています。

3年次には、比較的入手しやすい重要史料を講読します。2022年度は、福沢諭吉の自伝である『福翁自伝』（岩波文庫）を取り上げました。基礎的な史料読解力を付けるとともに幕末から明治にかけての時代の雰囲気や掘めようになったことは勿論ですが、数々の逆風を乗り越えてきた福沢の行動や人生観から大きな教訓を得られたようです。4年次には、「それをやらなければ生きてゆけないもの」を研究テーマとして設定することを各自目指して研究を進め、卒業論文に取り組みます。専門の研究者が思いつかないようなテーマや方法論で研究をまとめ上げ、指導教員が度肝を抜かれることも多々あります。



横堀ゼミ

マネジメント学部 マネジメント学科 講師 横堀 応彦

本ゼミは現代社会とアートのつながりに関係する様々な問題について研究するゼミです。ゼミ生が自ら興味のあるテーマについて「問い」を立てて、「このことに関しては他の誰よりも詳しい！」と自信を持って卒論を書き上げることを目標にしています。（最近の研究テーマ例：乃木坂、宝塚、まふまふ、にじさんじ、テニミュ、ジョジョ、など）

3年生のゼミ活動では実際にイベントを一から企画して、交渉、事前準備、実施までの全てのプロセスをゼミ生自身で行う取り組みを行っています。今年度は文京区内の保育園と連携してクリスマスに合わせたイベントを実施する企画を立案しました。その結果MIRATZ本郷第二保育園のご協力を得て、12月13日にゼミ生が保育園を訪れてクリスマス会に向けたオーナメントの制作を3歳から5歳の子どもたちと行いました。ゼロからイチを作り出す仕事を経験したことは、1つの成功体験として今後の就職活動に向けた大きな自信に繋がりました。



篠崎ゼミ

観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 准教授 篠崎 健司

篠崎ゼミでは、大学内での理論や討議による学びと同じように学外で地域の方々との連携活動を大事にしています。本年も北海道南富良野町、岩手県盛岡市、福島県広野町、島根県津和野町（石見神楽東京社中）などで連携活動を行いました。

盛岡市では本学との連携協定に基づき、令和3年度から5年度にかけて「もりおか短角牛」をテーマとした地域農業の活性化に取り組んでいます。年間30頭弱しか出荷されない超希少和牛の一種である「もりおか短角牛」の特性を知ってもらうため、9月には牧野での見学体験モデルツアーを企画し、ツアーに参加した地元大学生や地元農家さんなどとの交流ができました。また1月には東京にある岩手県のアンテナショップ「いわて銀河プラザ」にて、もりおか短角牛の認知度向上イベントを開催しました。自分たちで考えた地域活性化の取り組みを現場で実施し、大学内だけでは得られない実践的な学びを活発に行っています。



板東ゼミ

心理学部 臨床心理学科 准教授 板東 充彦

板東ゼミでは、「心理学を生かした身近な人への支援」を学んでいます。ゼミ生たちは、①民間支援機関と協働して行うひきこもり青年の支援、②コミュニティデザイン学科の学生たちと共に行う地域づくり、③心理学部の学生たちのネットワークづくりに参加し、実践力を高めています。ひきこもりの人たちとどう関わって良いか戸惑う、期待したように活動が進んでいかないなどの躓きが現実そのものであり、重要な学びの機会です。そこで自分の課題に向き合いながら、仲間と共に壁を乗り越えていきます。

教室では、コミュニティ心理学の基本概念を学び、ワークを通して傾聴技法や集団に関わる方法を習得し、実践現場での体験をゼミでシェアすることを通して支援技法を身につけます。支援は、すでに私たちが日ごろから行っているものですが、スキルがあります。深い悩みを抱えた人に対する支援ほど、そして困難な状況ほど、臨床心理学の学びが効果を発揮します。



第55回 紫祭活動報告

第55回 紫祭実行委員会 委員長 皆川 友奈

今年度で55回目となる紫祭は、「黎明～彩り溢れる紫祭へ～」というテーマを掲げ、3年ぶりに対面形式で開催いたしました。開催日の10月29日、30日の2日間は両日も晴天に恵まれ、多くの方々にご来場いただき、無事成功を収めることができました。今回のテーマである“黎明”の意味に含まれる「新しく物事が始まろうとすること」のように、紫祭の新たな歴史を築くことができたのではないかと思います。



総勢75名の紫祭実行委員会が中心となって準備を進めていく中で、久しぶりの対面形式での開催のため、様々な点で例年通りというわけにはいかず、手探り状態の中で一から作り上げることになり、正直不安な部分もたくさんありました。お互いに協力し合いながら、一致団結することが今まで以上に求められる学園祭でもありましたが、参加団体の協力もあり、学生同士の結束力が高まったのではないかと感じております。

今回の紫祭ではキャンパス内の装飾にも力を入れ、風船やリボンを使用して色鮮やかにし、目で見て楽しんでいただけるよう心がけました。お祭りらしい華やかな雰囲気を感じられたのではないのでしょうか。また、感染症対策も万全を期すため、屋外にも休憩スペースを多く設け、来場された方々にゆっくりと楽しんでもらえるよう、安心安全な開催を目指して様々な対策を図りました。とはいえ、新型コロナウイルスの影響により、全て自由というわけにはいかず、調理を伴う模擬店は残念ながら



行うことができませんでした。しかし、コロナ禍であるということプラスに捉えた企画が多く見られました。例えば茶道部では、制限があったためにお客様の目の前で茶をたてて提供することはできなかったのですが、お点前の模擬体験会やお茶・和菓子の販売を行うなど、コロナ禍であるがゆえの工夫を凝らした企画が披露されました。

この他にも広いキャンパスを最大限活用した様々な企画が行われましたが、とりわけ、ダンス部A☆figによる力強いダンスパフォーマンスは、日々練習をしている努力の成果が十分発揮され、多くの観客を魅了しました。また、紫祭実行委員会が企画した縁日では、射的や輪投げなど昔懐かしい企画を取り入れ、老若男女問わず、多くの方々楽しんでいただいたのではないかと思います。この他にも俳優の桜田通さんによるトークショーや、蛙亭さんとGO!皆川さんによるお笑いライブなどを行い、紫祭を大いに盛り上げていただきました。



最後になりますが、お忙しい中にも関わらずご来場いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。また、様々な点でご指導ご協力いただきました小仲学長をはじめ、教職員の皆様のおかげで紫祭を成功させることができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。来年度以降も紫祭実行委員会を中心となって伝統ある紫祭を未来へ引き継いでいきます。今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



学生会情報

学生会本部 副会長 杉本 彩華



ごきげんよう。春寒ようやくぬるみ始めたこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

学生会本部では、12月2日に「資生堂ビューティー講座」をオンラインにて開催いたしました。就職活動に必要な基本的なメイクやスキンケア、良い印象の与え方などを勉強させていただきました。新型コロナウイルスが蔓延している中、疎かにしている部分もあったので、この機会に基礎の重要性を改めて感じました。

そして、12月17日にはクリスマスパーティーを文京キャンパスで開催いたしました。レクリエーションや写真撮影タイムでは、参加者同士和気あいあいとした様子が見られ、充実した時間にすることが出来ました。来年度も皆様に参加していただけるイベントを企画していく予定です。皆様のご参加お待ちしております。

今年度はコロナ対策をしながらではありましたが、対面での交流や大学祭などのイベントを開催することができ、役員全員で協力しながら活動してまいりました。もうすぐ3年生の先輩方が引退されます。新体制になる学生会本部も、先輩方が築き上げてきた学生会を受け継ぎ、跡見学園女子大学をよりよくしていくために活動してまいります。

そして、4月には新入生を迎えます。学生会本部では新入生歓迎会とサークル個別相談会の開催を企画しております。新入生歓迎会ではパフォーマンスや発表を用いて、跡見学園女子大学の良いところを、サークル個別相談会では、各団体の活動や学生生活の相談ができるように準備しております。

私たち学生会本部は、跡見生が充実したキャンパスライフを送ることが出来るよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



CLUB Now

美術部

部長 小林 愛奈美

ごきげんよう。美術部です。私たちは週2回、新座・文京キャンパスそれぞれのお昼休み時間に活動をしています。主な活動内容として、紫祭への展示、お昼ご飯を食べながらの交流やデッサンなどを行っています。また、部員の希望によりデザインフェスタ、コミティアなどのイベントでの展示も行ったりしています。

この美術部では、アナログのイラストだけでなく、デジタルで描かれたものやレジンなどの立体作品を作る部員もいて、作品の幅がとても広いです。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により、紫祭がオンラインでの開催だったため、制作した作品は写真での発表のみとなりました。しかし、今年度は対面で開催することができたため、多くの人に実際に作品を見ていただくことができました。

各々自分のペースで自由に作品制作を行うことが出来るので、興味がある方は是非ご連絡ください！初心者の方も大歓迎です！

公式Twitter (@atomi_art)



焼きたてパンの販売とキッチンカーの導入について



焼きたてパン販売

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、学生食堂の座席数を通常よりも制限していることから、特定の時期や曜日、時間帯によっては食堂内が大変混雑していることがありました。そのような状況の中、今年度秋学期からの一斉登校方式の対面を主とする授業形態に移行することに伴い、学生食堂の利用者が増えることが見



焼きたてパン案内板

込まれたため、飲食場所の分散を図ることに加え、学生の多様な食のニーズにも応えるべく、10月から焼きたてパン販売と食事やスイーツなどを提供するキッチンカーを導入いたしました。

焼きたてパンは、志木市の障害者の通所施設「しき彩の杜 いろは」に併設されたパン屋「パンとピザのおみせ HoHoEMi」の協力を得て、毎週火曜日の11:30～13:00に新座キャンパス花蹊メモリアルホールのリビーで販売を行っております。観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科の松井ゼミの学生を中心に、観光デザイン学科の塩月ゼミの学生も協力してポスターや案内板を作成するなど、販売促進のための宣伝活動を行っております。販売初日は開始前から長い行列ができ、200個用意したパンが30分程度で完売するほどの盛況ぶりでした。今は落ち着きましたが、毎週買いに来る固定客が付くなどの人気があります。

キッチンカーは、平日11:30～14:00（キッチンカーによって多少営業時間が異なります）に、新座キャンパスは1号館とグラウンドの間の桜並木付近に2台、文京キャンパスは2号館前に1台配車しています。キャンパスや曜日によって内容が異なりますが、タイ料理、タコス、ケバブサンド、サンドウィッチ、本格カレー、揚げパンなどの食事の他、クレープ、チュロス、クロッフルなどバラエティーに富んだメニューを取り扱っており、こちらも学生から大変好評を得ております。



キッチンカー販売

学生会館の完成に伴う河津桜の移植について（本学名誉教授内藤歡修氏より寄贈）

学生会館（新座キャンパス）の建設工事に伴い、建設地に植えてあった河津桜3本をグラウンドに移植していただきました（2本は仮移植）。

2022年6月に学生会館が完成したことに伴い、2022年12月にグラウンドに仮移植していた河津桜2本を学生会館入口の花壇に再移植いたしました。

地域交流活動の紹介

シンポジウム

『文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～』 & 発掘成果展 『発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～』 を開催しました

地域交流センターでは、文京区教育委員会の共催、テイケイトレード株式会社埋蔵文化財事業部と跡見「学芸員」in 菊坂の協力のもと、2022年10月17日～22日に発掘成果展「発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～」、2022年10月22日にシンポジウム「文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～」を開催しました。両企画は、かつての跡見女学校が位置した柳町遺跡が2020-2021年度に発掘調査が行われ、その成果をもとに開催されたものです。

発掘成果展は文京キャンパス2号館1階を会場に、跡見「学芸員」in 菊坂の学生4名が企画・設営・運営を行い開催しました。会場では、跡見女学校の学生たちが使用したと思われる文房具や美容品が展示され、当時の女学生たちの学びと美意識をうかがうことができる内容となりました。来場者は331名（内訳：学園関係者135名 一般191名）で、多くの市民の方がお越しくいただきました。

シンポジウムはプロッサムホールを会場に、来場者は108名でこちらも多くの市民の方がお越しくいただきました。シンポジウムでは、齊藤直美氏（文京区教育委員会）から柳町遺跡の場が縄文から現代までどのように使用されてきたのか、小野麻人氏（テイケイトレード株式会社）から柳町遺跡発掘調査の様子や出土遺物の分析内容、泉雅博氏（跡見学園女子大学名誉教授）から跡見学園にとって柳町時代がどのような性格を持つ時期であったのかなどが報告されました。



展示設営を行う学生たちの様子



発掘成果展会場の様子



シンポジウム会場の様子

樋口一葉生誕150周年企画展

『一葉と花圃～二人のみた『女学生』～』 を開催しました

地域交流センターでは、菊坂跡見塾を会場に文京区の協力、跡見「学芸員」in 菊坂の学生たちの企画のもと、2022年11月23日～27日に樋口一葉生誕150周年企画展「一葉と花圃～二人のみた『女学生』～」を開催しました。来場者は348名で多くの市民の方がお越しくいただきました。期間中、雑誌『東京人』の取材があり、同誌3月号に企画展の様子や学科の取り組みが紹介されました。

企画展開催中は、教職員とともに学生たちが接客や解説などを担当しました。文京区長、文京区や台東区、横浜市の博物館・美術館関係者、他大学関係者も来館し、学生ならではの感性による着眼点で新しい指摘を行っているとの評価をいただくことができました。また、企画展実現にあたっては台東区立一葉記念館、山梨県立文学館などから展示面で、文京区や本郷地域の町会や個人には準備や広報面で多大なるご協力をいただきました。



一葉原稿の取扱いレクチャーを受ける学生



会場の様子



学生と地域の方との集合写真

「コスメバンクプロジェクト」からの化粧品等の提供について

文京区学生支援担当者連絡会（区内大学、社会福祉協議会）の連携事業の一つとして令和4年10月から11月にかけて「コスメセット」を配布しました。コロナ禍で収入が減っている学生、就職活動などで化粧する機会がある3、4年生の学生を対象としました。この「コスメセット」は、「コスメバンクプロジェクト」*事務局からのご厚意によるものです。応募者をポータルで案内したところ、多数の応募があったため抽選を行い55セットの配布を行いました。後日、「コスメセット」を受け取った学生のお礼のメッセージカードをプロジェクト事務局あてにお送りしました。



学生からのメッセージカード



コスメセット



*コスメバンクプロジェクト

国際交流活動の紹介

2022年度は長引くコロナ禍の中でも、段階的に海外渡航規制が緩和され、協定校への中長期留学や現地派遣型の語学研修も一部再開するなど、国際交流活動にも徐々に明るい兆しが見えてきた年度となりました。

協定校への学生派遣は、2022年9月～韓国・東義大学校へ1名の学生が約半年間の語学留学へ、2023年2月～アメリカ・ローワーコロムビアカレッジへ14名の学生が3週間の語学研修に出発しました。

2023年度は、引き続き学生の安全に配慮し、長らく中止となっていた夏期海外研修の再開に向けて、準備を進めてまいります。

▶ 英会話サロン・韓国語サロンご案内

誰でも気軽に英会話や韓国語会話を楽しめる場所として、「英会話サロン」「韓国語サロン」を開室しています。

いずれも授業とは違った雰囲気です。「より自然な会話」を身に着けるため、ネイティブの先生が担当しサロンはいつも楽しいおしゃべりで盛り上がっています。実施方法も対面とオンラインを組み合わせ、学生はすべて無料で利用することができます。今後も、学生のニーズに合わせて、より充実した多言語サロンを展開しますので、学生のみなさんご利用をお待ちしています。

▶ 国際交流イベント報告

今年度は国際交流イベント等も多数実施しました。

6月 フランス オンラインツアー

8月および2月 韓国・東義大学校 オンライン学生交流会（学生主催）

11月 イギリス・スターリング大学 日本語クラスボランティア

2月～3月 ドイツ・ミュンヘン大学オンライン語学研修

気軽に参加できるオンラインの利点を生かし、多くの学生がこれらの活動に参加し、異文化理解や語学向上を図る機会となりました。



春期海外研修／アメリカ・ローワーコロムビアカレッジ集合写真



英会話サロン特別企画～屋外テラス編～

各サロンの詳細や、その他国際交流に関する情報は、ポータルまたはTeamsの「国際交流Information」にて随時配信しています。



令和4年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」について

令和4年度の文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」が、令和4年11月13日（日）（13時00分～16時00分）、跡見学園女子大学プロッサムホールで開催されました。

今年度で11回目となる本コンテストは、文の京ゆかりの文化人顕彰事業のひとつで、文京区と連携をして朗読者に発表の場を提供するとともに、区民の文化活動の一層の促進、特に青少年部門においては朗読への関心を醸成することを目的として、文京区が主催し本学が主管して平成24年度から開催されています。

今年も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、十分な感染対策を講じた上で開催されました。開会にあたり、成澤廣修文京区長よりご挨拶をいただきました。

今年は鷗外生誕160年没後100年の記念の年（鷗外イヤー）に当たります。テーマの「鷗外から鷗外へ」は、「時代を超えて鷗外作品が読み継がれてほしい」との願いを込めて、鷗外の6作品が課題とされました。

応募総数256名（一般130名、青少年126名）のうち、NHK放送研修センターの事前録音審査で選ばれた青少年の部8人、一般の部9人が本選に出場しました。

広瀬修子氏（元跡見学園女子大学教授、元NHKアナウンサー）、高橋淳之氏（NHK放送研修センター専門委員）、上野義博氏（文京区教育委員会教育指導課 指導主事）の3氏による厳正なる審査の結果、最優秀賞が2名（一般の部、青少年の部、各1名）に、優秀賞が4名（一般の部、2名青少年の部、各2名）に授与されました。

また、当日はプロッサムホールにて文京CATV制作番組「ぶんきょう浪漫紀行」から、本学園理事長・大学名誉教授の山崎一穎氏の解説による『舞姫』直筆原稿のおもしろさ（第一部・第二部）が上映されました。

さらに、特別展示としてプロッサムホール前にて、森鷗外関連展示が行われました。



一般の部



青少年の部

跡見学園後援会大学幹事会開催報告

令和4年11月19日（土）新座キャンパス花蹊メモリアルホールにて、令和4年度第44回跡見学園後援会大学幹事会を実施いたしました。当日は、20名程の後援会大学幹事の方々にご出席いただきました。

当幹事会では、学長小仲信孝による本学の基本方針及び今年度の状況報告、副学長塩月亮子による後援会からの補助金に関する報告、就職部長石渡尚子による就職状況報告がなされました。その後は、幹事の方々との意見交換や質疑応答が行われました。いただきましたご意見については、今後の課題として真摯に改善に取り組んで参ります。

また、当幹事会終了後は、希望者による新座キャンパスツアーを実施し、秋晴れの中、今年度竣工の「跡見学園女子大学学生会館」等の施設をご覧いただきました。



就職課 Information ～就職部 就職課～

このコロナ禍において本学の企業との連携プログラムは、その多くが2020年度は中止、2021年度はオンラインによる開催を余儀なくされました。今夏はATOMIインターンシップ、PBL（課題解決型学習）プログラム、社会人インタビューのいずれも、多くの企業の協力のもと3年ぶりに対面での実施が復活し、活気ある社会の実態に触れることで、参加学生のキャリア意識は大きく高まりました。今号では、ATOMIインターンシップおよびPBLプログラムについてご紹介いたします。

全学部全学科1～3年生対象「ATOMIインターンシップ_2022」を実施しました

就職部主催のATOMIインターンシップは、就業体験を通して学生が自己の責任において納得のできる就職をするための職業観を養い、「働き方を含めた今後の生き方」を考えることを目的としています。事前研修から成果報告会を含めた約5カ月間にわたる長期プログラムであり、25年目を迎えた今年は、43の企業・自治体のご協力のもと、82名の学生が参加しました。

事前研修では、参加目的を明確にするための企業研究やビジネスマナー、各実習後の事後研修ではグループワークを実施。成果報告会ではグループで、実習成果や学び、今後の課題についての意見を、全学生に向けて発表してもらいました。

参加学生からは「社会で求められることが明確になった」「意欲的な学生から刺激を受けた」などの感想が聞かれました。今年は新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたことにより、対面実習での受入れ企業も復活してきました。入学式より大学生活の大半がオンラインとなり、アルバイト、部活動などにおいても制限多く過ごしてきた学生達にとって、広く社会や大人との接点を得られる本プログラムは、大変貴重な機会であったと思います。

企業の採用活動はこれまで以上に早期化が顕著になっています。できるだけ早い時期から業界・企業について知り、自分の選択肢を増やすことは非常に重要です。本プログラムが、その一助となり、自己成長の第一歩となることを願っております。



事前研修（ビジネスマナー）の様子



成果報告会の様子

3年生対象「PBL（課題解決型プログラム）」を実施しました

2022年8～9月にかけて、就職部では「PBLプログラム（課題解決型プログラム）」を実施しました。本プログラムは協力団体に業務上の課題をご提示いただき、学生がチームを組んで解決策を提案する、という実践的なプログラムです。コロナ禍でも継続して実施しているプログラムで、6年目を迎えた今回は、ウィズコロナを意識して原則対面形式（参加者合計27名）で行われました。

協力団体である（一社）千葉県産業資源循環協会は、資源循環業（産業廃棄物処理業）の業界団体で、環境に配慮しながら限りある資源の適正処理・リサイクルを推進している一方、一般社会から明るいイメージで認知されにくい、という問題を抱えています。そこで、「“資源循環業を人気のある業界にするためには”～産業廃棄物処理業 イメージアップ 大作戦！！～」をテーマとして、6つの学生チームが課題解決に挑みました。同協会所属企業2社の施設見学や社員との座談会等を経て、課題設定や解決策の立案に取り組み、同協会関係者の方々にプレゼンテーションを行いました。アイデアの新規性、実現可能性、発表の説得力などの指標から評価がなされ、最優秀賞1チーム、優秀賞2チームが選ばれました。参加学生からは、「チームで協力する楽しさを感じることができた」、「一つの事柄についてさまざまな方面から考えるという力が身に着いた」という感想が挙がりました。今後も就職部では、学生の視野や選択肢が広がるよう、充実度の高いプログラムの提供に努めて参ります。



協会・大学関係者と学生との集合写真



学生チームがアイデアを提案

新座キャンパスAV機器入替について

2022年の夏休み期間に、情報メディアセンターでは、今年度リプレイス事業のひとつとして、新座キャンパス1号館14教室のAV機器をリニューアルしました。最新式のプロジェクターも導入し、より明るく、より鮮やかな投影画面で授業を受けられるようになりました。

また、花蹊メモリアルホール、2171視聴覚教室、3号館大教室（3155・3156・3256）についてはPCへのより精度の高い音声取り込みができるように機器の入替を行い、オンライン授業をはじめ、様々な授業形態に対応できるシステムに変わりました。秋学期からはほとんどの授業が対面授業となりましたが、学生の皆様がより充実した環境で受講できるよう、今後も整備を進めます。



図書館トピックス

●フランス・トワイライト映画上映会開催！

学生が図書館に親しむきっかけをつくるため、図書館所蔵の映像資料と館内施設を利用した学生向けの楽しめるイベントとして、併せて、コロナ禍で関心が内向きになりがちなか中、国際的な文化や国際交流への学生の関心を喚起することも目的に図書課主催・国際交流課共催による映画上映会を開催しました。

【日 時】2022年12月9日（金）16：30～19：00

【場 所】新座キャンパス図書館視聴覚ホール

【上映作品】「美女と野獣」2014年フランス・ドイツ合作

【参 加】40名

当日、映画上映の開始前と終了後にフランス文学がご専門の文学部人文学科の中山慎太郎先生より「美女と野獣」についてレクチャーをいただきました。原作は女流作家が少ない時代（18世紀）にフランス女性作家によって書かれたものであり、学生によく知られているディズニー版とフランス映画化版の原作のアレンジの違いなど、詳細な説明に学生たちは聞き入っていました。上映会終了後、学生同士で感想を話しながら会場から出てくる様子から今回のイベントを楽しんだ様子が窺われました。

上映会に併せて、新座図書館内で「美女と野獣」に関する中山先生ご提供の書籍および図書館に所蔵する映像資料（ディズニー版DVD他）、絵本、写真集など資料展示も行いました。



保護者説明会開催報告（学部）

令和4年11月26日（土）〔1,2年生保護者対象〕.27日（日）〔3,4年生保護者対象〕に文京キャンパスにて、保護者説明会を開催いたしました。今年度は令和元年度以来の対面での実施となり（令和2年度：中止、令和3年度：Web開催）、両日併せて460名程の保護者の方々にお越しいただきました。当説明会では、先ず学長及び各学部長によるご挨拶の後、教務部長・学生サポートセンター長より学生生活について、就職部長より就職・進路支援についてご説明を行いました。その後は、本学教職員による個別相談会や在学生による文京キャンパスツアーを実施しました。個別相談会では、履修や成績、奨学金、留学、就職活動等々、様々な相談内容が寄せられました。保護者の皆様に大学のことを知っていただく一助となったならば幸いです。



2022年度 学内講演会 開催報告



全学共通科目運営センター

- 2022年度全学共通科目運営センター主催FD講演会
日時：2022年11月9日(水) 13:00～14:30
場所：オンライン開催
テーマ：「学びの意欲に火をつける」
授業における「具体例」の紹介と教員の方々とディスカッション
プログラム：(司会) 松浦雅子教授(コミュニケーション文化学科)
1. 開会の辞 全学共通科目運営センター長 鷹咲子教授
2. 問題提起
～学生が積極的に学びたい授業を展開するには?～
矢野峰生教授(コミュニティデザイン学科)
3. 授業における具体例紹介とディスカッション
①文学部
宮津多美子教授(コミュニケーション文化学科)
②心理学部 小栗真弘准教授(臨床心理学科)
③マネジメント学部
赤松瑞枝准教授(生活環境マネジメント学科)
④観光コミュニティ学部
土居洋平准教授(コミュニティデザイン学科)
参加者数：(当日参加者) 85名(専任教員75名・兼任教員10名)

文学部

- 文学部FDワークショップ
(1)
日時：2022年9月8日(木) 13:00～14:30
場所：オンライン開催
主催：文学部教育・研究支援委員会
司会：文学部教育・研究支援委員会委員長三輪健太郎講師(現代文化表現学科)
題名：「書く力」を伸ばす指導法～ポストコロナの大学ライティング教育をめくって～
発表者：森まり子教授(人文学科)、富川淳子教授(現代文化表現学科)、松浦雅子教授(コミュニケーション文化学科)

マネジメント学部

- マネジメント学部主催 第1回FDワークショップ
日時：2022年6月29日(水) 14:40～16:10
場所：オンライン開催
テーマ：海外の事例から考える大学教育の多様性～カナダと韓国を参考に～
発表者：曾田修司教授(マネジメント学科)、鷹咲子教授(マネジメント学科)
対象者：マネジメント学部専任教員及び兼任教員
参加者：24名(専任教員21名・兼任教員3名)
- マネジメント学部主催 第2回FDワークショップ
日時：2023年2月22日(水) 14:40～16:10
場所：新座キャンパス3号館(3256教室)・オンライン開催
テーマ：他大学におけるアカデミックインターンシップの実情
発表者：桜美林大学ビジネスマネジメント学群 戸崎肇教授
対象者：マネジメント学部専任教員
参加者：23名(専任教員21名・専任職員2名)
- マネジメント学部主催 春学期キャリアデザイン講演会
日時：①2022年7月22日(金) 16:40～18:10
②2022年7月26日(火) 16:40～18:10
場所：①②新座キャンパス 花蹊メモリアルホール
講師：①②太田彩子さん 一般社団法人 営業部女子課の会 代表理事
株式会社ベレフェクト 代表取締役
テーマ：①②「ワクワクキャリアのつくり方～私らしく働くために～」
参加者：①122名 ②106名
- マネジメント学部主催 秋学期キャリアデザイン講演会
日時：①2022年11月15日(火) 16:40～18:10
②2022年11月18日(金) 16:40～18:10
場所：①②新座キャンパス 花蹊メモリアルホール
講師：①②藤田かれんさん 株式会社マイナビ 就職情報事業本部
就職ナビ統括本部 東京キャリアサポート課
テーマ：①②「ワクワクキャリアのつくり方～私らしく働くために～」
参加者：①106名 ②122名

観光コミュニティ学部

- 観光コミュニティ学部主催 FD講演会
日時：2022年9月8日(木) 16:30～18:10
場所：オンライン開催
テーマ：まちづくり教育を考える
発表者：①小長谷悠紀教授(観光デザイン学科)
「まちづくりと観光(事業)の接近」
②佐野美智子教授の進行のもと、コミュニティデザイン学科
全教員が報告
「コミュニティデザイン学科で“まちづくり”を学ぶ」

心理学部

- 心理学部FDワークショップ
日時：2022年9月28日(水) 13:00～14:30
場所：文京キャンパスM2301・オンライン開催
テーマ：精神的な困難を有する学生への対応と配慮
発表者：企画趣旨説明 前場康介准教授
登壇者発表 新井雅准教授、鈴木真理特任教授、阿部洋子教授、
宮岡佳子教授

大学院人文科学研究科

- 日本文化研究フォーラム
日時：2022年7月9日(土) 13:00～14:50
場所：文京キャンパスM2707教室
題名：《北斎の美人画》歌麿を超えた人気絵師として、またその多様な展開
発表者：奥田敦子氏(すみだ北斎美術館主任学芸員)
参加者数：18名
- 人文科学研究科FDワークショップ
日時：2022年11月16日(水) 13:15～14:00
場所：オンライン開催
題名：大学院教育における評価について～学部との違いを中心に～
報告者：酒井佳永教授(臨床心理学専攻)
パネラー：矢島新教授(日本文化専攻)、松崎くみ子教授(臨床心理学専攻)

2022年度
各種研究助成報告
公的研究費 科学研究費助成事業（独立行政法人日本学術振興会）

	新規採択研究課題	継続研究課題	2022年度直接経費 ^{※1}
研究代表課題	3件	15件	計11,548,849円
研究分担課題	7件 ^{※2}	16件	計4,732,851円

※1 2022年度に配分された本学研究者の直接経費（代表課題の場合、研究分担者への配分額は含まない）

※2 継続研究課題に分担者として新規参加した1件を含む

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）委託研究費

	継続研究開発課題	2022年度直接経費 ^{※3}
委託研究開発課題（研究代表者）	1件	2,240,000円

※3 2022年度に配分された委託課題の直接経費（再委託先研究機関への配分額は含まない）

学内研究助成

	教員数	助成額
海外・国内留学助成	1名	500,000円
特別研究助成	3名	計3,457,000円
学術図書出版助成	3名	計3,000,000円
外国出張旅費助成	2名	計600,000円

東京都連携事業「観光経営人材育成講座」開講報告

跡見学園女子大学では、東京都が実施する「大学等と連携した観光経営人材育成事業」（実施期間3年）の連携大学として、観光関連事業に従事（予定を含む）し、東京都内に在住または在勤している方々を対象とした「観光経営人材育成講座」を開講しています。本事業は、ポストコロナの新たな観光に対応できる観光経営人材の育成を目的とした教育プログラムの実施や教材開発を目的としたものです。「観光経営人材育成講座」では、価値創造モデル、MICE、街区や移動の空間、社会課題と観光経営、ジェンダー、異文化理解、メタバース、ハラールビジネスなど、多様かつ重要なテーマを取り上げ、時代に即した知見や複眼的視野、これからの考える材料を豊富に提供することで、観光経営に関する理論的・体系的・実践的な思考を身につけることが可能となります。

本事業の2年目である2022年度では、3講座全12講演にわたる講座を開設し、本学教員や他大学の研究者、官公庁・企業にて観光関連事業に携わる方など、各講座のテーマに沿って、異なる講師の方々にご講演いただきました。なお、本学からは中西哲准教授（マネジメント学部マネジメント学科）、中西太郎准教授（文学部コミュニケーション文化学科）が講師を、土居洋平准教授（観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科）がコメンテーターを務めました。

- ・ 講座題名 コロナ禍での観光の未来を考える インバウンドのセカンドステージでの課題と人材育成～価値創造、空間と交通、ジェンダー、異文化理解、ハラール対応～
- ・ 講座内容 第1講座 「従来PLUSの事業創造のために」（2022年9月6日（火）～10月11日（火））
第2講座 「社会課題と観光産業－ダイバーシティの観点から－」（2022年11月8日（火）～12月20日（火））
第3講座 「観光におけるハラール対応」（2023年1月17日（火）～1月26日（木））
- ・ 開催形態 オンライン開催
- ・ 定員 各講座50名（観光関連事業に従事（予定を含む）し、東京都内に在住または在勤している方）
- ・ 講師 本学教員および他大学研究者、官公庁・企業で観光関連事業に携わる方

2023年度の「観光経営人材育成講座」につきましては、詳細が決まり次第、本学HPにてお知らせいたします。

跡見さくら咲く募金について

明治8（1875）年、学祖跡見花蹊先生は、新時代に後れをとらぬ女子の教育の実現を掲げて跡見学校を開学されました。以来、跡見学園はその理念を貫き、時代に合わせて形を変えながら歴史を重ね、令和7（2025）年に創立150周年を迎えます。

これを記念しまして、本学では、①キャンパスのリフレッシュ化計画の推進、学生会館の建築（女子大学新座キャンパス）②中学校高等学校のフレキシブルスペース構想の推進（カフェ・面談・自習等のスペース）③ICT環境の更なる充実を図るため、オンライン授業の環境整備、AV設備の改修など、整備・充実を継続的に実施することを計画しております。

この跡見学園創立150周年記念事業を推進するため、「跡見さくら咲く募金」を創設しました。お振込みの他、学園ホームページ上ではクレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済をご利用いただけます。

卒業生、在学生・在校生御父母、教職員、事業法人及び一般有志の皆様方からの深いご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。



お問い合わせ先：跡見学園募金事務局 TEL03-3941-4100 Eメール bokin@atomi.ac.jp

Open Campus

2023年度オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる様々な企画を用意しています。ぜひご参加ください。



在学生による個別相談の様子



キャンパスツアーの様子

Open Campus Schedule

新型コロナウイルス感染防止対策を行っています！

3/25(土)

【新座キャンパス】

5/28(日)

【文京キャンパス】

6/25(日)

【新座キャンパス】

7/23(日)

【文京キャンパス】

8/6(日)

【文京キャンパス】

8/19(土)

【文京キャンパス】

9/10(日)

【文京キャンパス】

11/12(日)

【文京キャンパス】

*この日程のほかに、ミニオープンキャンパス（10/28、10/29）入試対策セミナー等を実施いたします。詳細は本学HPにてご確認ください。

実施予定企画

大学説明／入試説明／入試対策講座／体験授業／教員・学生との個別相談／キャンパスツアー／等

*個別相談・学校見学も随時受付中です。

*その他、入試に関するお問い合わせは入試課（TEL:048-478-3338）までお願いいたします。

2023年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定

●学部 新1年生対象

4月1日(土)	一人暮らしのガイダンス・学生寮オリエンテーション（入寮者のみ対象）
3日(月)	入学式・新入生説明会・履修ガイダンス （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部） <マネジメント学部> 学科ガイダンス <観光コミュニティ学部> 学部・学科ガイダンス・グループミーティング
4日(火)	<文学部・心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・資格課程ガイダンス（人文学科のみ）
5日(水)	<文学部・心理学部> 個別面談 <マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・グループミーティング・個別面談・社会調査士課程ガイダンス（観光コミュニティ学部のみ）
6日(木)	健康診断 （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）・資格課程（司書）ガイダンス

●学部 新2年生対象

3月24日(金)	健康診断（文京キャンパス） （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）
4月6日(木)	<マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
7日(金)	<文学部・心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新3年生対象

3月23日(木)	健康診断 （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）
28日(火)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
29日(水)	<マネジメント学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
30日(木)	<観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・社会調査士課程ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
31日(金)	<心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新4年生対象

3月22日(水)	健康診断 （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）
28日(火)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
29日(水)	<マネジメント学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
30日(木)	<観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
31日(金)	<心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●大学院生対象

3月24日(金)	<マネジメント研究科のみ（文京キャンパス）> 健康診断
4月3日(月)	<両研究科新1年生のみ（新座キャンパス）> 入学式・専攻説明会他（午前：人文科学研究科、午後：マネジメント研究科）
6日(木)	<人文科学研究科のみ（新座キャンパス）> 健康診断
7日(金)	<人文科学研究科2年生のみ（新座キャンパス）> 履修ガイダンス・専攻ガイダンス

2023年度 花蹊記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2023		
3月23日(木)～ 5月23日(火)	[写真が語る跡見の歴史]	
6月16日(金)～ 7月27日(木)	[書芸術の探究展Ⅱ]	[第15回 跡見OG書道展]
9月28日(木)～ 12月 8日(金)	[没後80年 跡見玉枝展]	
2024		
1月23日(火)～ 2月 2日(金)	博物館実習生模擬展示	
3月22日(金)～ 3月29日(金)	[跡見花蹊の書画—中国文化との関わり—]	

※展示期間、展示内容は変更することがあります。

◆ 春の行事予定 ◆

3月	18日(土)	第55回学部卒業式 第17回大学院修了式
	4月 3日(月)	第59回入学式
4月	8日(土)	春学期通常授業開始

● 履修申請期間 ●

- **Web履修登録申請期間**
1次 <全学年> 4月5日(水)、6日(木)、7日(金)
2次 <全学年> 4月11日(火)、12日(水)
- **履修登録状況(抽選結果) 発表**
4月11日(火)、15日(土)
- **履修登録訂正手続期間**
4月15日(土)、17日(月)

跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介します。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信していますので、是非、本学公式SNSアカウントをフォロー・友だち登録して、チェックしてみてください。



Instagram

跡見学園女子大学 Atomi University (atomiuniv)



Twitter

跡見学園女子大学 (@Atomi_univ)



YouTube

跡見学園女子大学広報



LINE

跡見学園女子大学

受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

跡見学園女子大学学報 第104号

発行日 令和5年3月15日
発行 跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687 東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03 (3941) 7420
URL <https://www.atomi.ac.jp/univ/>

この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。

